

2023年10月18日

## 米 ADDiTEC 社金属 3D プリンターの販売を開始 大型部品の高品質・高速造形が可能

日本酸素ホールディングスグループの日本産業ガス事業会社である大陽日酸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：永田 研二、以下 当社）は、米国フロリダ州の金属 3D プリンターメーカーである Additive Technologies, LLC（以下 ADDiTEC 社）との戦略的な業務提携を行い、同社製品の日本における販売を開始いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 販売の背景

当社は、日本酸素ホールディングス株式会社の中期経営計画「NS Vision 2026～Enabling the Future～」における重点戦略の一つである「カーボンニュートラル社会に向けた新事業の探求」や、日本における産業ガス事業の成長戦略としての「ソリューションビジネスの拡大」に基づき、金属アディティブ・マニュファクチャリング（以下、金属 AM）を重点事業分野と位置付け、当社が得意とする溶接プロセス、ガス精製、熱処理などの産業ガスアプリケーション技術を金属 AM での課題解決に繋げ、革新的な商品開発や生産合理化、カーボンニュートラルに貢献する取り組みを、グローバルに推進しております。

上記取り組みの一環として、当社ではこのたび、Laser Wire Additive Manufacturing (LWAM：レーザーワイヤー式アディティブ・マニュファクチャリング)方式<sup>※</sup>金属 3D プリンターメーカーのグローバルリーダーである米国 ADDiTEC 社が開発した最先端なプリンターの販売権を獲得し、日本での販売を開始いたしました。

同社の開発した「PERFORMANCE AMRC-P（製品名）」は、革新的なレーザー技術と、ロボットの制御技術を組み合わせることにより、既存工法では両立が果たせなかった大型部品の高品質かつ高速造形を実現します。

当社は、既存の日本国内を中心とした販売網を通じて、日本のものづくりにインパクトを与えうる本金属 3D プリンターを航空宇宙産業、重工業や産業機械分野に加え、自動車やエネルギー分野など幅広い市場へ展開するとともに、産業ガス事業とのシナジー効果の創出を目指します。

注：<sup>※</sup> Laser Wire Additive Manufacturing 方式

金属ワイヤーを使用し、エネルギー源としてレーザーを利用して積層造形を行う 3D プリンティング方式。金属粉末原料よりもコストに優れ、安全で保管が簡便なワイヤー原料を使用しておりレーザーを利用する事で高速で高品位な造形を特徴としております。

## 2. 装置の特長

- ・6kW の出力を持つ革新的なレーザーを搭載し、一般的金属 AM 装置の数十倍の造形速度と密度 99.95% の高品質な造形を達成
- ・ロボットの制御技術を持つソフトウェアの搭載
- ・メルトプールモニタリングを含むプロセス制御技術を搭載
- ・アルミ合金、銅合金を含めた幅広い様々な金属ワイヤーを材料として使用可能
- ・さまざまな日本メーカー製ロボットに対応し、完全に統合されたロボット制御ソフトウェアを搭載することにより大型造形が可能
- ・ガスシールド構造を持つリークタイトな造形チャンバーによりチタンなど活性金属の造形が可能

## 3. ADDiTEC 社概要

社 名：ADDiTEC  
本社及び工場：米国 フロリダ州  
設 立：2015 年  
代 表 者：Brian Matthews 氏

以 上

### 【会社概要】

大陽日酸株式会社

事業内容：酸素・窒素・アルゴン等各種産業ガス、LP ガス、医療用ガス、特殊ガスの製造・販売及び溶断機器・材料、各種ガス関連機器、空気分離装置の製造・販売、電子部品の組立・加工・検査、設備メンテナンス

創 業：1910 年 10 月 30 日

設 立：2020 年 2 月 4 日

資 本 金：15 億円

株 主：日本酸素ホールディングス株式会社（出資比率 100%）

売上収益：4,204 億円\*

※日本酸素ホールディングス(株)2023 年 3 月期の日本セグメントの売上収益

本件に関するお問い合わせ  
大陽日酸株式会社  
東京都品川区小山 1-3-26  
広報部  
TEL:03-5788-8015  
Mail:Tnsc.Info@tn-sanso.co.jp